

兵庫県保険医協会・北阪神支部主催

・在宅ケア研究会のご案内・

テーマ

参加無料

『在宅での口腔機能管理の基礎知識』

～ワンポイント実習あり(各自手鏡をお持ちください)～

日時 **3月14日(土) 15～17時**

講師 兵庫県歯科衛生士会阪神北支部 **朝田 美鈴** 先生

会場 **ラストホール3F講座室**(定員50人・先着順)

伊丹市南野2丁目3-25 TEL072-781-8877

阪急伊丹駅より伊丹市バス系統(37)／阪急塚口行「稲野町8丁目」下車徒歩1分／阪急神戸線塚口駅北側出口より伊丹市バス系統(37)阪急伊丹行(40)三師団交通局前行いずれも「ラストホール前」下車すぐ／阪急稲野駅より西へ徒歩600メートル

平成21年度より介護保険単位の改正がされますが、まだまだ十分なものは言えません。マンパワーの不足の中で日々、高齢者、障害をお持ちの方々の安心、安全、楽しい、明るい生活を考えながらお仕事をされていると思います。口は食べることに深く関わっており、「食べる」「話す」「笑う」など生きる意欲の基本になります。口腔の清潔度やケアが健康と深く関連があることは既に周知されてきています。しかし、あまりにも日常的なことなので間違った思い込みをしてはいませんか？

疑問を抱えたままでなく、今一度正しい口腔ケアを理解いただくことにより、介護者も要介護者も安心、安全、楽しい生活を過ごすことができます。実習もまじえてともに学びましょう！ (朝田記)



※お問合せは、事務局・吉永、駒ヶ嶺 (☎ 078-393-1809) まで

(切り取らずに返信ください)

【FAX返信:078-393-1802】 兵庫県保険医協会北阪神支部担当 行

▶『在宅での口腔機能管理の基礎知識』(3/14)に

参加する 約 () 人

医療機関名 _____ お名前と職種 _____

〒 _____ FAX _____

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2009年2月25日号 No.190

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

新春政策研究会・感想文

医師不足解消こそ政府の責任



鍋をつつきながら、ざっくばらんに意見を交わした

北阪神支部は1月17日、伊丹市で新春政策研究会「自治体病院の再編・統廃合を考える」を開催し、9人が参加した。加藤擁一副理事長が基調報告し、脇野耕一副支部長が市立宝塚病院問題について話題提供した。参加者の感想を紹介する。

今、ワイドショーでも盛んに放送されている話ですが、自治体病院つぶしがなぜおこっているのか。その根本原因は、医師の絶対数の不足によることがよく解りました。OECDの平均よりも14万人足

りない現状、医師の過酷な労働時間(週60時間を超えているのは日本だけです)、それに医師数統計でも各国では60才までの医師なのに、日本は80才以上も統計に含め、国民をごまかしている、ということも知りました。あと、医師の研修制度を、今の2年から1年にかえて、目先の数字をごまかそうとしていることも知りました。政府は国民に対して、もっと真摯に答えなければいけないと思います。

あと、「地方公共団体財政健全化法」で、病院の赤字を自治体の赤字に繰り入れることを義務づけたことにより、各自治体は財政再建団体に陥ることを防ぐため、独立行政法人化など、自治体病院の整理を余儀なくされたことを知りました。大変勉強になり、考えさせられました。

余談ですが、新春研究会の後、新年会に参加しましたが、これも大変勉強になりました。私は歯科ですので、ドイツのインプラントの話など、面白い話を聞くことができ良かったと思います。

【伊丹市・歯科 工藤 大八郎】

『シッコ』上映会に280人参加



市民、医療従事者が多数参加した

北阪神支部は2月1日、映画「シッコ」上映会を、宝塚市ソリオホールで開催。市民ら280人が参加した。

同上映会は、各支部で昨年からの取り組み。北阪神支部は宝塚医療生協と共催し、宝塚市や同市文化振興財団の後援を得、案内チラシ、ポスターによって会員医療機関や市内自治会等で宣伝を行った。

上映会では、副支部長で宝塚医師協良元診療所所長の脇野耕一先生が「患者見殺しの医療制度はSICKO(ビョーキ)や!」と題し話題提供。国民の6人に1人が無保険状態にあるアメリカの実情や、宝塚市立病院の産科・婦人科休止問題に触れ、日本の低医療費政策についても解説した。

参加者からは「『医療の民営化は阻止しなければ』との思いを新たにしたい」「自分の団体でもぜひ上映会を催したい」などの感想が寄せられ、好評を得た(次号に感想文を掲載予定)。

健康情報テレホンサービス

〈3月のテーマ〉 通話料無料 (0120) 979-451



- 月曜日 更年期障害とホルモン補充療法
- 火曜日 よく嘔むことと認知症予防
- 水曜日 手に『しびれ』が起こったら
- 木曜日 頑固な便秘症
- 金土日 すいみんの問題について

※テレホンサービスは、協会のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.hhk.jp/>

「自主共済の適用除外」求める新署名にご協力を

協会は、今開かれている通常国会に向けて、自主共済の適用除外を求める新しい請願署名に取り組んでいます。先生のお手元に署名用紙をお送りしていますので、ぜひご協力ください。また追加でご協力いただける先生は共済部までご連絡ください。▲078-393-1805

宝塚社保協

「後期」資格証発行やめよ

—中井支部長が宝塚市との懇談、街頭宣伝に参加



市の担当者に問題を直接訴えた

中井通治支部長、脇野耕一副支部長が副会長を務める「社会保障をよくする宝塚の会(宝塚社保協)」は1月15日、中井支部長ほか6団から13人が参加し、市内の社会保障充実を求め、当局と意見交換した。宝塚社保協は毎年、同市に対して国保問題などをはじめ社会保障の課題について懇談をもち、今回で3回目となる。

中井支部長は後期高齢者医療制度問題について「保険医協会調査では市内の保険料普通徴収者の13%・809人が未納となっており、県平均を上回っている。制度の廃止が最大の要求だが、少なくとも未納者への機械的な資格証発行は控えるべき」と要望した。

市側は「保険料収納率が低いことは懸念している。滞納者への対応は広域連合で議論しており詳細は不明だが、実態把握に努め機械的な適応は避けたい」とした。

参加者からは「介護職員を増やすための自治体施策を創設してほしい」「障害者自立支援法導入後、応益負担原則で障害者の生活が逼迫している」「健康診断は受診券、健診内容とも改善が必要」など、医療・福祉・介護現場の実態や苦しい生活状況が訴えられた。

また同会は2月13日、後期高齢者医療制度保険料の年金天引き日にあわせ、阪急逆瀬川駅前制度廃止を求める宣伝・署名行動を行った。12人が参加し、1時間で76筆の署名を集め、署名用紙入りティッシュ300個を配布した。県内各地の社保協も同様に該当宣伝・署名を行った。



署名協力を訴える中井支部長

街頭宣伝にたった中井理事は「このままでは無保険の高齢者が生まれることになる。医療費抑制を目的とする同制度の一刻も早い撤回を」と、通行人に訴えた。

署名に応じた高齢者からは「保険料が高く負担が大きい。制度を中止させて少しでも生活不安をなくしたい」などの声が聞かれた。